

新年度の予算 十二億七千四百万円

昭和五十年年度予算は三月の定例議会において議決され、執行に移されております。国保会計で医療費の大幅な伸びが見込まれるため前年の四十二%を上回る予算となっているほか、一般会計では十七%の減、有線会計では一、八%と僅かな増加を示しております。

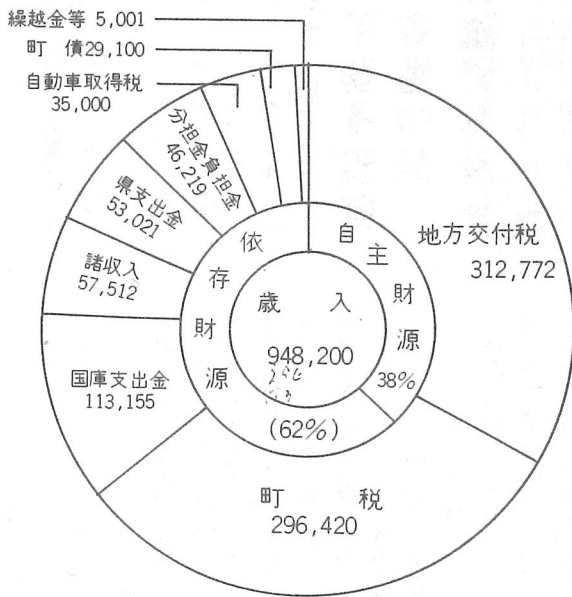
一般会計では 前年を下回る

昭和五十年年度の一般会計予算は前年度の当初予算を一億九千七百万円(一七%減)下まわって計上されました。

この要因は、町長の予算編成方針で述べてありましたように、当初予算の編成段階では、最近の厳しい社会経済情勢の推移から見て町税、地方交付税等の歳入面に大きな期待をかけることに無理があったためです。

歳入面では、町税が二億九千六百四十二万円で予算総額の三二、二%をしめております。町民一人当りの税負担額にしますと二万二千六百三十二円となっております。地方交付税が三億一千二百七十七万二千円(三三%)で前年度より一千八百二十七万二千円(六、二

%)上まわっております。その他に国、県支出金が一億六千六百七十六万六千円(一七、五%)、貸付金元利収入などのような諸収入で五千七百五十一万二千円(六、一%)、分担金負担金等四千六百二



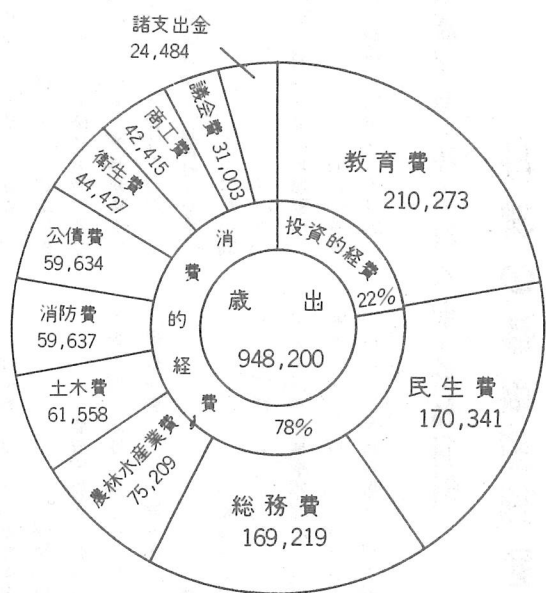
十一万九千円(四、九%)、自動車取得税三千五百万円(三、七%)町債その他三千四百一十万円(三、六%)となっております。このように、町の財政は町民の皆さんが直接又は間接に納める税金と国、県からの交付金や補助金借入金などで運営されています。歳出面の主な事業については、新島地区の家畜ふん尿乾燥施設、栗山川漁港改修事業、町内道路網の整備、横芝、上堺両小学校校舎の増築工事などが計上されております。

年々伸びる 国保予算

国民健康保険特別会計予算は総額で二億九千四百万円で、歳入面では、国保税が一億二千九百四十七千円で予算総額の四三、九%、一世帯平均の年間税負担額は五万五千七百円となります。この他に、国庫支出金が一億四千六百二十九万二千円と五八、八%をしめております。

前年当初と比較しますと八千七百五十五千円と大巾な増加を示しております。

歳出面では、保険給付費が二億六千七百三十八万六千円(九一%)で一世帯平均の保険給付費にしま



すと十一万三千九百七十五円となっております。

有放会計

有線放送電話特別会計予算は歳入歳出ともに二千三百三十四万円が計上されました。四十九年度では一四、七%の増加を示した有放会計も今年度は、夜間業務の廃止に伴う人件費の節減等により一、八%の増加にとどまっております。

保養センター 会計

国民保養センター特別会計予算は、八百六十三万円が計上されて